

第2学年A組 美術科学習指導案

令和5年5月23日(火)第1校時
場 所： 美術室, 工芸室
授 業 者： 吉 田 真 梨

1 題材名 「これが名物！ご当地[㊦]駄菓子開発会議！」

A表現(1)イ(イ), (2)ア(ア) (イ) B鑑賞(1)ア(イ) [共通事項] (1)アイ

2 題材について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は学習意欲の高い生徒が多い。自分の中で考えをまとめながらじっくり取り組む場面と意見交換をしながらアイデアを深める場面とを理解しながら、まじめに取り組むことができる。1年次には、多様な描画材料に触れて表現方法を試しながら、感情や印象をといた目に見えないものを形や色彩、描画材料の表現による特徴を生かして楽しみながら豊かに表現していき、「表現のアイデア」「表現のための参考資料」として、スクラップ帳のようにワークシートにまとめていく学習を行っている。また、色の性質やレタリングについて学習している。これらの既習事項を生かして、自らの表現を追求していく経験をさせたい。今回の題材は、パッケージデザインというより多くの人に伝えるために、形や色彩の効果やイメージ、図柄や写真などを生かしながら、機能を考えていく必要がある。より多くの人に意見を求めたり、自分から発信したりしていくことを通して、美しさや機能についての考え方や捉え方を広げさせたい。形や色彩の効果やイメージを生かして他者への伝達に活用したりしようとする活動に楽しんで取り組むことを期待している。

(2) 本題材を指導するにあたって

本題材は、造形的な視点でパッケージを見つめよさを味わい、生活の中にある美術の働きを理解するとともに、「地域の魅力をPRし、地域活性化につなげる」という目的やより多くの人々に企画した商品の魅力や地域のよさを伝えるという条件を基に主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、形や色彩や素材の特性を生かしてより多くの人に伝えるパッケージに表現しながら、伝えたい思いや意図を伝達するためのパッケージとしての調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして美意識を高め見方や感じ方を深める、表現及び鑑賞活動である。

「一口で味わえる地域の魅力」というコンセプトを基に、地域の魅力を紹介できるようなパッケージをデザインする。パッケージの構成の参考となる小型のチョコレートは安価で流通も多く、生徒がコンビニエンスストア等で目にする機会も多い。また季節や地域によってさまざまな味が存在し、見た目もかわいらしいことが魅力でもある。形状は変わらないが、味の多様性に合わせてパッケージもバリエーションが豊富であり、さまざまな文字や模様・図柄が用いられ、それらを並べてみるだけでもわくわくした楽しい気持ちになってくる。限られたスペースにもかかわらず、商品の魅力をより豊かに伝えるために厳選された情報が形や色彩の効果を生かして表されおり、伝達の効果を学ぶ上で焦点化することのできるパッケージである。指導に当たっては、まず、現在自分たちの身の回りに存在しているパッケージが、より多くの人に商品の魅力を伝えるために配色・図・写真・レタリングなどの情報が整理され、パッケージ自体が洗練された美しさをもったものであるということを理解させたい。その上で自分が伝えたい味や魅力を表現するために描画材や素材を選ぶなどして新たな表現方法を工夫しながら、色彩や図などを豊かに用いて表現できるように指導する。また、生活の中で目にする実際のパッケージが生み出されるまでの流れを紹介したり、生徒にも複数アイデアを練ることを意識させたりすることで、一つの商品やパッケージが生み出すために、デザイナーや企画担当として働く人々がどれだけの熱意と苦労を重ねているのかということ理解し、人々の思いによって生みだされたものが私たちの生活を彩り豊かにしていること経験を通して気付かせたい。生活の中にある美術の働きについて理解し、販売者・購入者の両者の立場からパッケージが生み出す生活の豊かさを感じ取れるように指導する。

第1時「パッケージの役割を理解し、伝えるための工夫や美しさについて考えよう！」では、パッケージの「商品を保護する」「商品のイメージを伝える」という2つの機能について理解する。その上で、実際に販売されているお菓子のパッケージを鑑賞する。図・文字・配色・情報などのイメー

ジを伝えるための工夫に気付かせ、生活の中に存在する美術の役割と魅力に気付かせ、そのよさを味わわせたい。

第2・3時「自分が紹介したい地域の魅力を伝える企画を練ろう！」では、自分が紹介したい地域を選び、その地域の魅力を伝えられるような商品の企画を考える。商品の決定にあたっては、自分とその地域の関わりを見つめ直したり、タブレットパソコンを用いた地域の情報を集めたりする活動を通して、地域や魅力について自分の中でとらえ直す。自分が特に紹介したいものなど強調する部分などを考えながら、商品の構想を練るように指導する。考えたことや気付いたことも含め、「企画書」という形で視覚化していく。

第4時「自分が紹介したい地域の魅力を伝えるパッケージのアイデアを練ろう！」では、「企画書」をもとに、伝えたい内容をパッケージに落とし込むためのアイデアを練る。形や色彩、材料や描画材料などによる表現がもたらす効果を生かし、商品の魅力が伝わるパッケージのアイデアスケッチをする。文字の形やイラスト、キャラクターなどの案を練り、パッケージのおおよその構想を鉛筆等でスケッチしながら、アイデアを練る。

第5時「形や色彩がもたらす効果を考え、パッケージの構成を練ろう！」では、形や色彩が感情にもたらす効果や視覚的な効果を生かしながら、パッケージの構成を練る。商品の魅力やイメージを伝えるために配色やレタリングなどを工夫するとともに、全体のバランスに気を付けながら文字や図、柄などの大きさや配置を考え、魅力あるパッケージのアイデアをスケッチに表すように指導する。

第6時「全体の構成や制作の見通しをもち、パッケージのスケッチを進めよう！」では、前時に制作したスケッチを基に、自分の伝えたいことや強調したいことに合わせて材料を選び、制作の手順をもちながらアイデアスケッチにまとめる。

第7・8・9・10・11時「材料や用具を生かし、魅力あふれるパッケージを制作しよう！」では、A4のケント紙または画用紙を主な台紙として、自分の表現の意図に合わせて選んだ描画材で描いたり、紙やフィルムなどの素材を貼ったりしてパッケージを制作する。自分が伝えたい魅力やイメージに合わせて描画材や素材を選ぶとともに制作の手順を考え、見通しをもって制作するように指導する。また制作を進める中で、毎時間の終わりに行う振り返りの一環として、授業記録共有型アプリケーションを利用した授業記録を行う。生徒一人ひとりの活動の様子や活動を通して得た学びを自由に閲覧できる機能を活用し、仲間の学びからも気付きを得ることができるようにする。

第12時「新商品発表会」では、制作したパッケージの鑑賞を行う。魅力やイメージを伝えるための工夫について、配色やレタリングだけではなく、描画材と技法・素材の選択にも注目するように指導する。

(3) 学校研究とのかかわり

美術科における挑戦心を、「自らの理想（思い描いたこと）を表現するために試行錯誤する生徒の姿」と捉えている。この題材では、第1学年で学習した表現につなげる知識や技能を基に、自分の表したい内容をより豊かに表現するために、さまざまな材料や用具を試しながら、吟味していくことができるようにすることを意図して、学習環境の設定や教師からのフィードバックを行っていくことを重視する。

(4) 学習指導要領上での位置付け

A 表現－(1)イ伝える、使うなどの目的と機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動

(イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

(2)ア発想や構想したことなどを基に、表現する活動

(ア) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。

(イ) 材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表すこと。

B 鑑賞－(1)ア美術作品などの見方や感じ方を深める活動

(イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と想像的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

3 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解する。〔共通事項〕
- ・意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表す。〔A表現〕(2)

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・自分が紹介したい地域の魅力から主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。〔A表現〕(1)
- ・伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と想像的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。〔B鑑賞〕(1)

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、誰にでも分かりやすく意味やイメージが伝えることなどを基に楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

4 題材の評価規準

学習活動に即した評価規準

「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
<p>知 形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p>技 地域の魅力を生かした商品の内容をより魅力的に伝えるための表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</p>	<p>発 地域の魅力を伝えるために、伝える相手や商品のイメージから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、商品の魅力やイメージの伝わりやすさと美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えて見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画 (12時間)

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
<p>1. 鑑賞 (1時間)</p> <p>●パッケージの魅力や役割について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいを理解する。 ・実際の商品のパッケージを分析し、イメージを伝えるための工夫やパッケージの役割について考える。 ・班で活動を行い、発見したことや感じたことを話し合いながらパッケージを鑑賞する。 	<p>知</p> <p>↓</p>	<p>鑑</p> <p>↓</p>	<p>態鑑</p> <p>↓</p>	<p>知 形や色彩、材料の特徴を基に、全体のイメージを捉えることを理解することができていない生徒を見取り、作品を見つめる視点を確認し対話を通して感じたことや考えたことをまとめる支援をする。【活動の様子】</p> <p>鑑 態鑑 伝達のデザインの調和のとれた美しさを感じ取り、メーカーの表現の意図と工夫などについて考えるなどができているかどうか取り組む態度を見取り、できていない生徒に対して、鑑賞の視点を示し、対話を通して形や色彩の効果などに気付かせたりするなどの指導を行う。</p> <p>【ワークシート、発言の内容、活動の様子】</p> <p>知 態鑑 実際のパッケージを鑑賞し、形や色彩の効果、イラストや写真の見せ方などをもとに全体のイメージで捉えることを理解し、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとした</p>

			<p>発 主題の深まりや描画材料の工夫や組合せの構想を含めて、発想や構想を再度見取り評価する。【作品】</p> <p>態表 主体的に制作に取り組み、形や色彩の効果、描画材料の特徴を理解しようとし、意図に応じて創造的に工夫して表そうとしている態度を評価する。 【ワークシート、活動の様子】</p>
<p>4. 鑑賞（1時間）</p> <p>●伝達のデザインの美しさ と機能の調和について考える。</p> <p>・クラスの生徒の作品を鑑賞し、描画材料の工夫やそれによって生まれた形、色彩やその組合せの美しさに注目し、伝達の効果を味わう。</p> <p>・授業記録共有型アプリケーションの機能を用いて、クラスの生徒の作品にコメントを送る。</p>		<p>態鑑</p> <p>知 形や色彩、材料や用具の特徴を基に、全体のイメージを捉えることを理解することができていない生徒を見取り、作品を見つめる視点を確認し対話を通して感じたことや考えたことをまとめる支援をする。 【ワークシート、活動の様子】</p> <p>鑑 態鑑 伝達のデザインの調和のとれた美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどできているかどうか取り組む態度を見取り、できていない生徒に対して、自分の表現と比べさせその違いを考えさせたり、対話を通して表現方法のおもしろさやよさなどに気付かせたりするなどの指導を行う。 【ワークシート、発言の内容、活動の様子】</p> <p>態鑑 主体的に作品を鑑賞し、形や色彩の効果、描画材料の特徴などや全体のイメージで捉えることを理解しようとし、伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしたりしているかどうかを評価する。 【ワークシート、活動の様子】</p>	
<p><授業外：題材が終了後 ></p>		<p>知・技 完成作品や表現及び鑑賞のワークシート、制作レポートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート、制作レポート】</p> <p>鑑 伝達のデザインの調和のとれた美しさを感じ取り、作者の表現の意図や創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めているかをワークシートで見取り評価する。 【ワークシート】</p> <p>発 発想や構想について、主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と合わせて再度見取り必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート】</p>	

6 本時の計画（9／12時間）

(1) 目標

色紙などの材料や絵具や色鉛筆などの用具の生かし方を身に付け、漢字の意味や自分の伝えたい感情や印象に応じて工夫して、制作の順序などを考えながら見通しをもって表す。

(2) 準備

○教師：ワークシート・タブレット端末・電子黒板・プロジェクタ・制作の上質紙・制作の画用紙・色画用紙・色紙・和紙・色鉛筆・カラーマーカー・絵の具・のり・接着剤・セロハンテープ・マスキングテープ、はさみ、カッター、工作マット、

○生徒：筆記用具・教科書・ファイル・タブレット型端末・色鉛筆・絵の具セット

(3) 展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点 （〔共〕：〔共通事項〕に係る内容）	評価と手立て 【観点】：評価規準【評価方法等】
導入 5分	<p>★意図に合わせて材料を工夫してを制作しよう！</p> <p>●本時のねらいと内容を知る。</p>	<p>・本時の活動について、振り返りや前回の活動を基に説明する。</p> <p>・活動の様子を後から振り返ることができるようにタブレット型パソコンで記録写真を撮るように伝える。</p>	<p>【技】地域の魅力を生かした商品の内容をより魅力的に伝えるための表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</p> <p>【作品、活動の様子】</p>
展開 35分	<p>●自分の伝えたい内容に合わせて材料や用具を選び、その特徴やよさを生かして、制作する。</p> <p>・材料や描画材料を吟味しながら、制作の順に見通しをもって進める。</p> <p>・制作を進める中で、新たに発見したことや考えたこと、その他気に入った表現等があったら、活動の様子が記録できるようにタブレット型パソコンで撮影する。</p>	<p>・用具の使用や、材料や用具を取りに行く生徒の導線に気を配る。特に刃物類の使用については安全面に配慮する。</p> <p>・生徒が相談してきた材料や用具が美術室にある場合は、安全指導をしつつ速やかに用意をする。</p> <p>・机間指導をしながら、〔共〕生徒が選んで使用している材料や用具の特徴やその表現から生まれるイメージが自分の伝えたいことにより生きているかなど意識させるようにする。</p> <p>・絵の具を使用している生徒には、授業終了20分前には活動を終わりにするように声をかける。</p>	<p>◎自分の伝えたい内容に合わせて、材料や用具の特徴を生かして、工夫して表している。</p> <p>◆材料を選んだ理由を尋ねたり、特徴やよさを確認しながら何が自分の伝えたい内容に生きていくのか一緒に考えたりするなどの助言を行う。</p> <p>【態表】 美術の創造活動の喜びを味わい、主題を生み出し、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、機能と美しさとの調和などを総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【作品、活動の様子】</p>
まとめ 10分	<p>●片付けを行う。</p> <p>●教師の話聞く。</p> <p>●本時の活動を振り返る</p> <p>・今日の学習を通して、自分が考えたことや気付いたことを、タブレット型パソコンを用いて振り返りに記入する。</p> <p>・タブレット型パソコンで今日の活動が分かる写真を撮影し、授業記録共有型アプリケーションに投稿する。</p>	<p>・今日の学習活動についてまとめ、生徒がねらいにせまることができるようにする。</p> <p>・本時の活動についてじっくり振り返り、ワークシートに考えをまとめることができるようにする。</p>	<p>◎自分の伝えたい内容に応じて描画材料などを選択し、試行錯誤を繰り返しながら制作に取り組んでいる。</p> <p>◆制作の手が止まっている生徒が居たら様子を見ながら声をかけ、描画材料の特徴やよさに気付かせて自分の表現につなげる支援や、つまづきの解決方法を一緒に考えるなどの指導を行う。</p>

◎：十分満足できる状況 ◆：C判断生徒への手立て
（備考 在籍生徒数 男子19名 女子18名 計37名）